

```
=====
== ZXjatype バンドル v0.6 <2012/09/09> ==
== by 「ZR」 (八登 崇之/Takayuki YATO) ==
== <zrbabbler@yahoo.co.jp> ==
=====

(This file is encoded in UTF-8,)
```

■ 対応環境

- XeLaTeX2e (0.9995 版以降)
- 前提パッケージ：
 - etoolbox
 - xeCJK (CTAN 掲載の版)
 - ※ zxjatype 0.6 版について、動作が確認されているのは
2.4.4 / 2.4.5 / 3.0.8 版。
 - ※ xeCJK 2.x 版と併用した場合、zxjatype 0.5 版と同じ
動作を行う。

■ 本ソフトウェアの作者のサイト

En toi Pythmeni tes TeXnopoleos ～電脳世界の奥底にて～
<http://zrbabbler.sp.land.to/>

■ インストール

TDS 1.1 に従ったシステムでは、各ファイルを次の場所に移動する。

• *.sty → \$TEXMF/tex/xelatex/zxjatype/

W32TeX を C:\usr\local にインストールした場合の例。

• *.sty → C:\usr\local\share\texmf-local\tex\xelatex\xjatype

```
-----
zxjatype パッケージ (v0.6) -- 本体
-----
```

まだ解説が書けておりません…。基本的な機能の説明については以下の Web ページで行っていますのでそちらを参照してください。

ZXjatype パッケージ
<http://zrbabbler.sp.land.to/zxjatype.html>

■ 更新履歴

Version 0.6 <2012/09/09>

- xeCJK 3.x 版に対応させる。xeCJK 3.x 版用に新たに実装されたコードは
2.x 版と併用できないので、zxjatype 0.5 版のコードをそのまま残して
xeCJK が 2.x 版の場合はそちらを有効にする。
- 実装上の制限により、日本語用に特別に調整した句読点スタイル `quasijis` の実装を止めた。日本語には、xeCJK で用意された句読点すたいの
`fullwidth` を使用する。
- `\setCJK...font` 命令でも `\setjafontscale` の設定が効くようにする、
すなわち `\setja...font` 命令の動作と同じにする。
- `\setjafontscale{}` (空引数) で和文スケール設定を付加しない設定に切り
替えられるようにした。
- `\[no]usejafamilyinverbatim` 命令を廃止した。

Version 0.5 <2012/05/01>

- 「行頭禁則の仮名」+「開き括弧」の間の空が入らない現象を修正。
- xeCJK の「大きな」内部マクロに対してパッチを当てる処理を `etoolbox` の `\patchcmd` で行うように変更。

Version 0.4 <2010/08/15>

- xeCJK 2.3.10 版/2.3.15 版での動作を確認。
- 一部の命令の名前を変更。基本的にこのパッケージで提供される命令の名前は
 \CJK.. や \xeCJK.. で始まらないようにした。(ただしその結果として、命令
 の出自によって「接頭辞」がまちまちになっている。)

Version 0.3a <2009/11/18>

Version 0.3 <2009/11/16>

- \[no]jafamilyinverbatim 追加。
- \textrawja/\textrawen 追加。
- rawjatext/rawentext 追加。
- bxbase の \Ux/\UI のドライバを追加。

Version 0.2a <2009/11/01>

- リリース作業のミスで生じたバグを修正。

Version 0.2 <2009/10/25>

- 最初の公開版。